記者発表資料

平成２９年　８月１０日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第一部会第１回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の平成２９年度第一部会第１回定例会議が、平成２９年７月４日（火）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第一部会第１回定例会議では、委員会が抽出した案件９件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
（第一部会）　仙台市青葉区本町３－３－１　　TEL (022)225-2171（代表）

主 任 監 査 官	佐藤（さとう） 博明（ひろあき）	（内線２１１４）
入札契約監査官	大場（おおば） 績（いさお）	（内線２２２０）
契 約 管 理 官	中新田（なかしんでん） 由雄（よしお）	（内線２２２２）
技術開発調整官	瀧澤（たきさわ） 靖明（やすあき）	（内線３１２０）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所		平成２９年７月４日（火）　東北地方整備局　大会議室	
委員		部　会　長　久田　　真　【(国) 東北大学大学院 工学研究科 教授】 部会長代理　泉田　成美　【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】 委　　員　大泉　太由子【(一社)東北圏地域づくりコンソーシアム 理事】 委　　員　鈴木　　覚　【弁護士】	
審議対象期間		平成２９年　１月　１日　～　平成２９年　３月３１日	
審議案件		総件数　　９件　（別紙－１ 審議案件一覧のとおり）	
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	２件	（備考） (1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2)指名停止等の運用状況 (3)談合情報等の対応状況 (4)再度入札における一位不動状況 (5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	２件	
	工事希望型競争入札	０件	
	指名競争入札	１件	
	随意契約	１件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品製造等		１件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答		別紙－２のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		別紙－３のとおり	

審 議 案 件 一 覧

別紙－1

【工事】

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	国道45号　鍬台地区舗装工事	セメント・コンクリート舗装工事	1	1	H29.3.1	フジタ道路（株）	1,663,200	99.6	南三陸国道
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	国道45号　松崎地区上部工工事	鋼橋上部工事	21	21	H29.3.9	高田機工（株）	860,976	90.1	仙台

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	脇神こ道橋外上部工工事	プレストレスト・コンクリート工事	1	1	H29.2.15	（株）安部日鋼工業	298,836	99.9	能代
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	三春ダム常用放流設備修繕工事	機械設備工事	1	1	H29.3.23	日立造船（株）	25,920	93.3	三春ダム

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
工事希望型以外の指名競争入札方式	秋田法務総合庁舎（16）車庫建築その他工事	建築工事	30	12	H29.2.10	山科建設（株）	83,160	96.1	盛岡営繕

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
随意契約方式	宮古盛岡横断道路　新区界トンネル（2期）工事	一般土木工事			H29.3.23	国道45号新鍬台・宮古盛岡横断道路新区界トンネル工事鹿島・東急特定建設	8,162,640	99.9	岩手

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
簡易公募型競争入札方式	山口地区外用地調査等業務	補償関係コンサルタント	14	10	H29.3.22	（株）三和技術コンサルタント	4,212	77.8	三陸国道

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
公募型及び簡易公募型以外の指名競争入札方式	福島県警察機動隊庁舎増築工事監理業務	建築関係建設コンサルタント	30	18	H29.3.28	日新設計（株）	2,916	29.3	営繕部

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業 務 分 類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	アンケートシステム移行設定業務	役務の提供等	2	2	H29.1.23	（株）ヒューマン・ネットワーク	886	26.5	企画部

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
質問なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１　国道４５号鍬台地区舗装工事	
・セメントコンクリート舗装とアスファルト舗装とがあるが国土交通省ではどのような基準で使い分けているのか。	・セメントコンクリート舗装はアスファルト舗装より寿命が長く、トータルコストで有利になることから、一般的に堅い地盤の箇所で積極的に使用している。一方、盛土が高い場合や軟弱地盤では、沈下によりひび割れを起こす場合があることや都市部の住宅密集地で騒音を押さえたい場合は、アスファルト舗装を使用している。
・指名停止や営業停止の影響で入札参加者が１者ということであるが、業者はアスファルト舗装とセメント舗装とで､ほぼ重なっているのか。	・ほぼ重なっている。
・入札参加者が一者ということで競争原理が働いているのか、技術提案６０点の内３８点は低いように思うが。技術に妥協はなかったのか。	・他に比べると低い方だが、これまでの舗装工事の平均も概ね４０点前後で推移してきている。また、技術提案も実施不可となるような提案はなく、品質も確保されると考えている。
・業者が予定価格を推定できる理由は如何に。	・積算するための見積もり参考資料や特別調査単価等が公表されていることなどで、精度も上がってきていると推察される。
２　国道４５号松崎地区上部工工事	
・鋼橋上部工工事は、毎回抽出することになっているが、今回、入札参加者数は２１者、落札率も９０．１％と問題は見られず、過去２年間を見ても参加者も十分に多く落札率も高くない状況であり、現状問題のない鋼橋上部工工事から、舗装工事等別の工種に切り替えるべきかと思うが、どのようなタイミングで改訂できるのか。	・鋼橋上部工工事の入札談合再発を防ぐため、本省通知により毎回抽出を行っているところである。 　今後、委員の方からお話があったことも含め、本省に要望していきたい。

・入札調書の入札金額欄の無効はどのような場合か。	・入札金額が調査基準価格を下回った入札参加者に追加資料の提出を求めたところ、資料を提出しないとのことであったため入札を無効としたものである。
3　脇神こ道橋外上部工工事	
・１．入札公告２．競争参加資格の（１１）に記載されている、工事成績評定点の平均点が７０点以下でないことの、７０点とはどのような感じなのか。７０点を切るということはどのような事なのか。	・平均点７０点は、可もなく不可もなく工事が竣工出来ているというレベルのことである。 平均点が７０点を切るという場合は、工事事故の発生など、施工管理上の問題が発生した工事が含まれている可能性などが考えられる。
・利益が上がりにくいという理由で入札参加者が１者と少ないということであるが、例えば指名競争にするとか入札参加者が増えるよう契約方式を変えることは可能なのか。	・原則、一般競争入札であり、一般競争入札を行っても不落が続く等、特殊な事情があった場合は指名競争に切り替えるなどの対応を行っている。 なお、本工事は現場作業の多い橋と工場で製作するプレキャスト桁を架設する橋を組み合わせることで、より多くの者が入札に参加出来るよう工夫をしたところである。
4　三春ダム常用放流設備修繕工事	
・入札参加者が１者だった理由として、技術者不足との説明だが、ダムゲートに関わる技術者不足の要因は何か。	・推測の域を出ませんが、ダム事業減少に伴いダムゲートの技術者を増やせないことと、規模の小さい工事だったことが考えられる。
・この工事は、操作盤を作った業者のみが行える工事ではないのか。	・他社も可能である。
・機械を作ったところが有利となることはないか。	・一般的に機械を製作している業者であれば出来るが、一般的に売っているものではないため、有利となる場合もあると思われる。
・本工事の工事費に占める機器費とその他の割合は如何に。	・機器費が７４％となっている。
5　秋田法務総合庁舎（１６）車庫建築その他工事	
・本工事は 8，316 万の営繕工事で指名競争入札ですが、この金額が少額なのか微妙だと思うのだが､不落対策は幾らからとなっているのか。	・　１億円未満の工事からとなっている。
6　宮古盛岡横断道路新区界トンネル（２期）工事	
・随意契約とした理由は何か。	・１期工事で随意契約を行う旨の公告をしている。 また、国債工事は最長でも５カ年であり、それ以上工期を必要とする工事については、分割し工事の技術的な理由等により競争が存在しない場合は随意契約す

	ることとなる。
・１期工事を評価した上で、随意契約で２期工事を契約というようなプロセスがあるのか。	・技術検査等により、工事が適正に行われているかを、確認している。
・２期工事は殆どが随意契約になるのか。	・１期工事が適正に実施され、工事の技術的な理由等により競争が存在しない場合は随意契約となる。
・工事概要の図面を見ると、脆弱な地質の箇所で１期工事、２期工事と工区分けしなくともよかったのではないか。	・配布させていただいた図面は、概略的に１期工事と２期工事の工区分けをしたものである。 本工事は４切羽での施工を行っており、それら全てを勘案した上で行っている。
７　山口地区外用地調査等業務	
・指名が３０者ではなく１０者であるが、１０者指名で行うことの内規はあるのか。	・本業務は、簡易公募型競争入札方式で、一般競争入札と同様に広く公募（参加）出来るよう設定しており、その後、企業や技術者の評価により順位を決め上位１０者を指名している。なお、不調不落対策のための通常指名は３０者としている。
・落札率が低めで心配な面もあり聞きますが、業務は無事完了しているのか。	・業務内容の変更もあって履行期間を７月中旬まで延長しているところである。 業務は問題なく履行中である。
８　福島県警察機動隊庁舎増築工事監理業務	
・設計業者と別の業者が工事監理業務を行っているのか。	・第三者性を確保するため、設計業務受注者ではない者に工事監理業務を発注している。
・管理技術者を一級建築士としているが、こんなに安くて、本当に一級建築士が配置されているか確認はしているのか。	・提出された書類の免許証及び顔写真による本人確認や、現地での対応状況の写真で本人確認を行っている。
・かなり落札率の低い入札金額もあるが、どの辺が削減できると考えらるか。 また、削減したことで品質管理に問題は生じないのか。	・推測だが、業者が工事監理を専門としたグループを作り、休むことなく稼働できる効率よい配置ができれば、比較的低い落札率の応札が可能となることが考えられる。 また、工事監理が確実に行われているかについては、監督職員が確認を行っている。
・総合評価で３０者に絞り込みを行っているが、２７位から３６位まで同点で結果６者指名から漏れているが、同点の場合の順位付けがあるのか。	・同点の場合は、選定要領に基づき、業務成績、実績、手持ち業務量、技術者数などについて評価し、順位を決めている。
９　アンケートシステム移行設定業務	
・公的機関に落札実績を上げれば、将来、契約	・取れる事はない。

が取れるとかあるのか。	ただ、他の発注業務で公的機関の受注実績を求める場合はあると思う。
・本業務は、制作した業者が応札したのか。	・応札していない。
・本業務はサーバーへの移行のみか。	・移行のみである。
・役務の提供等及び物品の製造等では、あまり低い落札率の時は理由を求めないのか。	・役務についても、予定価格が一千万を超えるものは調査基準価格を設定し、調査を行っている。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

・鋼橋上部工工事を毎回抽出し審査することになっているが、入札参加業者も複数者あり、落札率も含め健全であるので、今後は、抽出する場合であっても何回かに１回で良いのではないか検討いただきたい。
・１者入札で高落札率の案件が多いわけだが、これまでもしっかりと手順を踏んでいるので問題ないと思うが、これまでとおりの対応をお願いしたい。
・低落札率の場合、その入札金額で仕事がやれているか実態を精査することについて検討いただきたい。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を図っていただきたい。

【当局からのコメント】

意見要望のありました１点目については、本省の方とも意見交換しながらお願いしていきたい。２点目については、今後とも十分注視しながら状況をよく見ていきたい。３点目については、実態を把握しながら、しっかり対応してまいりたい。

委員の皆様方からの疑問やご意見を含めて今後の入札・契約業務に反映させていただく。

また、さらなる透明性競争性の確保に努めてまいりたい。